

ぐ当地健康茶がブーム!!

「マイ水筒派」からの需要高まる

連日の猛暑により、ビールや清涼飲料が飛ぶように売れている。それを受けて大手飲料メーカーは8〜9月、一斉に増産体制に入る。また、成熟状態が続くスポーツ飲料も、この夏はサッカーW杯効果と熱中症対策により需要が急増している。夏は飲料の書入れ時だ。一方、節約志向とエコ志向の高まりから「マイ水筒派」も増えている。アルミやステンレスの保冷ポットにお気に入りのお茶や飲料を詰めて携帯するの

だが、気になるのは、この水筒の中身。箱買いたした大容量のペットボトル飲料を詰め替える人、粉末飲料をまとめて買いつけて大容量で溶かし水筒に詰め替える人などさまざまだが、やはり緑茶、ブレンド茶、ウーロン茶、ミネラルウォーターなどの定番になりがちだ。そこで、おいしくて健康的でかつ個性的な全国各地の健康茶を「マイ水筒派」に向け、「アピール」ではいかがだろうか。手軽にネットで取り寄せたり、都心にある各都道府県のサテライトショップで購入できるといったことをきっかけに伝達することもある。8月3、4日に東京・有明ビッグサイトに開催されたアグリフードエキスポから、ぐ当地健康茶をいくつかピックアップしてみた。

地産地消で安心感

各公共団体もバックアップ

「パイヤ茶」(ティーパック2g×8包、20包)は、宮崎県産の栄養たっぷりの青パイヤ茶を100%使用し、宮崎食研(0985・41・0801)が独自製法によりお茶にしたもの。自然な甘味と特有の甘い香りが特徴。紅茶とブレンドした「パイヤ紅茶」もある。瀬戸内海・小豆島産オリーブの葉を用いた「オリーブ茶」(ティーパック、3g×10袋入り・945円、3g×30袋入り・2520円)は、ほのかな渋みの中に特有の爽やかな味と香りを持つ。オリブポリフェノールにはコラーゲンの吸収を助ける働きがあるため、コラーゲンとビタミンC、甜茶を加えている。ほかに抹茶タイプ、ペットボトル入りもある。製造・販売はヤマヒサ(0879・82・0442)。

富山県水見市は、昔からハトムギの名産地。JA水見市(0766・74・8893)が販売する「透白美人」(とうはくびじん、200ml・200円)は、地元産ハトムギをふんだんに使った美容飲料。美肌、抗加齢などに役立つハトムギを牽引してきた緑茶、ミネラルウォーターが陰りをみせる中で、伸長が期待されているのが健康茶。ティーパックや粉末、顆粒タイプも堅調に推移している。さらに当たり前だが、地元産茶飲料は純国産のため、原材料のトレーサビリティも確立され、消費者の安全・安心志向にもピッタリ合致する。酷暑の夏に味よし、香りよし、健康によしのご当地健康茶を知ってもらって、固定客拡大につなげよう。



「パイヤ茶」(ティーパック2g×8包、20包)は、宮崎県産の栄養たっぷりの青パイヤ茶を100%使用し、宮崎食研(0985・41・0801)が独自製法によりお茶にしたもの。自然な甘味と特有の甘い香りが特徴。紅茶とブレンドした「パイヤ紅茶」もある。瀬戸内海・小豆島産オリーブの葉を用いた「オリーブ茶」(ティーパック、3g×10袋入り・945円、3g×30袋入り・2520円)は、ほのかな渋みの中に特有の爽やかな味と香りを持つ。オリブポリフェノールにはコラーゲンの吸収を助ける働きがあるため、コラーゲンとビタミンC、甜茶を加えている。ほかに抹茶タイプ、ペットボトル入りもある。製造・販売はヤマヒサ(0879・82・0442)。

富山県水見市は、昔からハトムギの名産地。JA水見市(0766・74・8893)が販売する「透白美人」(とうはくびじん、200ml・200円)は、地元産ハトムギをふんだんに使った美容飲料。美肌、抗加齢などに役立つハトムギを牽引してきた緑茶、ミネラルウォーターが陰りをみせる中で、伸長が期待されているのが健康茶。ティーパックや粉末、顆粒タイプも堅調に推移している。さらに当たり前だが、地元産茶飲料は純国産のため、原材料のトレーサビリティも確立され、消費者の安全・安心志向にもピッタリ合致する。酷暑の夏に味よし、香りよし、健康によしのご当地健康茶を知ってもらって、固定客拡大につなげよう。